

5月19日 有田川町庁舎前集会・2026年原水爆禁止国民平和大行進



庁舎前で横断幕を持つ町長



坂頭徳彦
有田川町長



有田川町平和行進

5月19日(火)集会前、町長室、議長室を訪問、ペナントと協賛金を受け取りました。又、坂頭徳彦町長と短時間懇談をおこない、役職署名にもサインをいただきました。有田川町庁舎前の出発集会です。木根敏幸事務局長が進行します。最初に、有田川原水協代表代表して宅田潤司さんが挨拶します。「核兵器は人類と共存できません。無くしていく事を政治家達に任せおく事は駄目だと思います。国民、そして私たちと一緒に奮闘する人達をたくさん作らなきゃいけませんし、そのために皆さんで集まって市民にアピールする運動をこれからも頑張っていきましょう」

次に集会に出席された坂頭徳彦町長からは「これまで広島集会、長崎集会に参加してきました。被爆81年、誰もが平和を願っているにも関わらず、世界では戦争が続いています。私たちも改めて恒久平和をあらたにして平和で豊かな取り組みを進めたいと思っています」との平和の思いが語られました。集会に副町長も参加いただいています。

次いで、増谷憲町会議員からは「世界では、国連憲章に違反する戦争が行われ、核兵器廃絶に対する重大な局面になっています。今、NPT再検討会議が開催されておりますが、核保有国を含む191の締約国の皆が合意しなければ成果文書は発効しません」と連帯の挨拶をおこないます。県実行委員会事務局からは、自身の経験も含めて被爆の実相を伝え、原爆写真展などに取り組みましようと呼びかけました。次いで、わかやま市民生協の川尻悠真さんが決意表明をします。最後に「有田川町集会アピール」を新婦人の会の高橋さんが読み上げ、拍手で確認されます。有田川町平和行進は、有田川町庁舎前から吉備中学校前を通り下津野東の交差点手前まで歩きました。参加者30人でした。この日は、みなべ町でも平和行進がとりくまれています。5月20日は、広川町～湯浅町、日高川町で平和行進がおこなわれます。

県原水協事務局